

にのみや学園通信

R6.2.29

第10号

にのみや学園「小中学校児童生徒交流会」

にのみや学園のプロジェクトとして年3回行われた「小中学校児童生徒交流会」。このプロジェクトは、小学校高学年の子どもたちが中学校の授業を参観したり、部活動を見学・体験したりすることで、中学校へのイメージをもち、これまで以上に安心感をもって中学校に進学することをねらいとしています。

1回目(9月27日)は、文化祭の準備としてクラスごとにステンドグラスを制作している様子や各教科の授業の様子を参観した後、生徒会による中学校の生活や中学生の休日の過ごし方などについて説明を聞きました。最後に、部活動において懸命に練習に励んだり、作業に集中して取り組んだりする中学生の姿を見学しました。1回目の交流会を通して、まずは、授業や部活動における中学生の様子を知ることができたようです。

2回目(10月27日)は、中学3年生が総合的な学習の時間で取り組んだ内容について発表の様子を参観しました。中学校の学習内容にふれたり、授業への見通しを持ったり、また発表内容を中学生と一緒に考えたりと、中学校の授業に対するイメージを少なからずもつことができたようです。



そして3回目(2月21日)は、部活動の体験でした。はじめは緊張した面持ちで体験に臨んでいた小学生ですが、中学生に、ていねいに教えてもらううちに、時おり笑顔を見せ、楽しそうに取り組む姿を見せるようになりました。

3回の交流会を通して、授業や部活動へのイメージをもち、中学校への希望や期待をふくらませて入学式を迎えることを望んでいます。



「学び合い」「話し合い」を大切に学習

今年度の4月にスタートした施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」では、9年間を見通し、小学校3校、中学校2校で共通性と一貫性をもった教育を進めています。その基盤となる取り組みが「学び合いを大切にしたい誰一人取り残されない学級づくり」と「話し合い活動を中心とした協働的な授業づくり」です。

その取り組みに迫るための活動例を2点お伝えします。

1つは、ノートやワークシートを使っの話し合い活動です。まず、課題に対する自分の考えを記した後、席が隣の友達と、近い席で作られたグループ内の友達と、また自分の席を離れていろいろな友達と、といったように、様々な形で意見交換を行います。時には質問をはさみながらより深く友達の考えを知ろうとします。このように、友達の考えを真剣に受け止めることによって、もう一度自分の考えを見つめ直し、その考えを広げたり、深めたりすることができます。その後、全体場でそれぞれの考えを共有し、つけ足しをしたり、違う考えを述べたり、質問をしたりしてさらに深めていきます。



もう1つは、ICT 機器を活用した意見交換です。まず、自分のタブレット端末に考えやアイデアを入力します。悩んだ際には、友達の画面を見ながら相手の考えにふれたり、質問をしたりして自分の考えを確立させます。この学習スタイルにおいても、タブレット端末に映し出された友達の考えを知り、新たな視点を得たり、自分の考えを広げたり深めたりすることにつながります。そして、全体場で共有し、それぞれ考えを述べ合いながらさらに深めていきます。また、学習内容によっては、タブレット端末の画面内容を友達と共有し、それぞれ考えやアイデアを入力し合いながら、話し合いを通して一つのものを作り上げる学習も行っています。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>



にのみや学園通信

R6.4.1

第11号

動く社会科副読本「わたしたちの二宮」

令和4～5年度の2年間をかけて、社会科副読本の改訂を進めてきました。

今回の大きなポイントは、紙からデジタルに変わったことです。紙からデジタルに変わったことで様々な効果が期待できます。

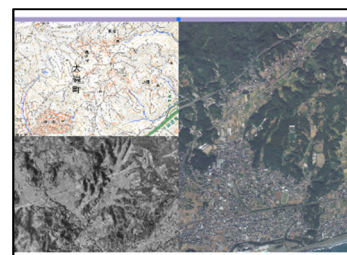
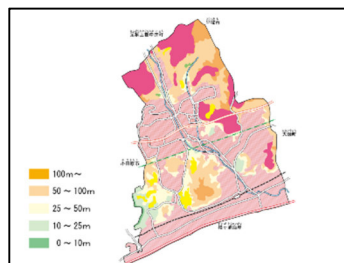
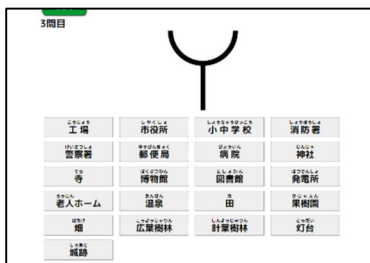
①より広く、より深く学ぶことができる

動画コンテンツをたくさん取り入れることで、子どもたちは、校外学習（見学）でも味わえないリアルを知ることができるようになります。動画等の資料を通じて、新たな発見や疑問が浮かぶこともあるでしょう。また、様々な理由で校外学習等に行けない場合の強い味方にもなります。



②またやりたりなる、また見たくなる

楽しく、わかりやすく学ぶために、クイズやアニメーション教材も数多く取り入れています。子どもたちには、ぜひ、チャレンジしてもらえたらと思っています。



これまで、小学校3、4年生を対象とした社会科副読本でしたが、今後は、総合的な学習の時間や生活科など他教科等でも幅広く活用していくこともできそうです。いつでも、どこでも見られる、動く教材「わたしたちの二宮」をにのみや学園の子どもたちにもたくさん活用してもらえんことを願っています。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>



にのみや学園通信

R6.4.16

第12号

にのみや学園始業式

にのみや学園が開校して、2年目を迎えました。4月9日（火）、にのみや学園の行事として、学園全体で始業式を行いました。にのみや学園を代表して、藤田和人学園長（二宮西中学校長）と二宮中学校生徒会長の大和日出さんから挨拶がありました。



「つながる」

藤田学園長からの挨拶の中にもあった「つながる」。にのみや学園内にも様々なつながりがあります。

とのつながり

さて、いくつ思い浮かぶでしょうか。

子どもたちがこれまで以上に安心感をもって、入学や進級することができるよう、にのみや学園では、子どもと子どものつながり、先生と先生のつながり、学習と学習のつながり等をこれまで以上に深めていこうとしています。また、今年度は、幼稚園・保育園と小学校のつながりも意識して取り組みを進めていきます。今後も様々なつながりを大切にしながら、学園の教育目標「認め合い、高め合う、二宮の子」の実現を目指していきます。

幼・保	にのみや学園									高校など
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	



「期待と不安の中で過ごす4月」

新学期が始まり、2週間が経過しました。子どもたちは、新しいクラスメイトや先生との出会い、新しい学習内容に大きな期待感をもって学校生活を送っていることでしょう。一方で、4月は、心や身体に負担が多くかかる時期です。新しい環境に慣れるまでは日々緊張するし、疲れます。「今までのほうがよかった。」そう感じることもあるかもしれませんが、それでも、今、日本中の環境が変わった人が前を向いて新しい環境に慣れようと頑張っている時期です。だからこそ、自分にも他人にもあたたかく前向きな言葉かけを大事にして、みんなで4月を乗り切っていきたいですね。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>



感謝の会

一色小学校では5月の朝会の時間に、「感謝の会」を実施しました。日頃、登下校の見守り等でお世話になっている地域の方々をお招きし、感謝の気持ちを伝えました。児童代表の言葉の後に、一色小学校のキャラクター「ニョッキ」のメダルをプレゼントし、全員で感謝の気持ちを込めて、校歌と今月の歌(ドレミの歌)を歌いました。学校運営協議会校外安全部会の部会長さんからは、朝みんなが挨拶をしてくれると、元気をもらえてうれしい気持ちになるというお話をいただきました。また、昨年度末に、防犯功労として受章した「神奈川県警察本部長褒章」の披露もしていただきました。日頃から子どもたちの安全安心のため、地域が一体となって取り組んでいただいていることに心から感謝いたします。



にのみや学園では、すべての学校がコミュニティ・スクールとなり、地域の方々が、さまざまな形で学校に関わってくださっています。学校・家庭・地域とそれぞれ立場の異なる人たちが、例えば子どもたちの安全安心など、同じ目的のために目標やビジョンを共有して、協働していくことが大切です。学校に関わる多様な人たちとのつながりを大切に、各校の特色を生かしながら、地域とともにある学校づくりを進めていきたいと思っています。

幼稚園へ行こう週間

二宮町幼稚園・保育園・小学校連携推進事業の一環として、5月末～6月にかけて「幼稚園へ行こう週間」を実施しています。昨年度まで行っていた「夏季保育参観」に代わる事業として、試行的に実施しているもので、各幼稚園が設定した週の午前中に、小学校の教職員が訪問し、実際の保育の様子等を参観しています。教員からは、「普段なかなか見ることのできない幼稚園の様子を見学することができて、とても充実した時間となった。」「制作活動やボールを使った運動を参観し、園児の生き生きと活動する様子、特性に合った声かけをしている様子がよくわかった。」等の感想が聞かれました。幼稚園と小学校での活動時間の設定の仕方や施設(特にトイレ)の違いなどについても知ることができ、そのような違いを共有することで、小学校での声かけや手立てに生かし、円滑な接続につなげていきたいと思っています。

これに先駆けて、5月には幼稚園・保育園職員が、成長した子どもたちの様子を見に、1年生の授業を参観する機会もありました。このような連携を通して、就学前から小学校の6年間、そして中学校の3年間までを見通した、子どもたちの発達の段階を踏まえた指導につなげていきたいと思っています。さらに、町内にある二宮高校とも、様々な場面で、小・中学校と連携を進めています。にのみや学園では、このような他校種との連携を大切にすることで、多様な学びにつなげ、子どもたちの豊かな成長を支えていきたいと考えています。



感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

